

法人理念	1人1人が世の中のリーダーになる		
支援方針	1) 教育×療育 2) 学び×遊びのメリハリ 3) 1日型		
営業時間	10:00～17:00	送迎実施の有無	有

	平日・週末
プログラム	支援内容5領域
朝の会	1日のスケジュールなどを視覚提示し、児童・生徒の活動の見通しを立てる。 また、挨拶などの日常生活における基本的な礼儀を行うことよって社会的なルールや人間関係の糸口を把握する場とする。 ラジオ体操で日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得を行う。 (健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性)
掃除	掃除役割を児童・生徒が中心となって決め掃除を行う。 役割決めの際は他児童、他生徒の身体能力などの必要な情報をスタッフがヒントを与えながら決めることとする。 役割決めリーダーは持ち回りで児童・生徒が行う。 掃除時間は15分～20分と定め時間内で実施し、時間内に終わるようにスタッフが援助し取り組む。 (健康・生活、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性)
プリント学習	認知機能への強化をプリント学習にて行う。(原則1日1枚) プリント学習では知覚、注意、記憶、言語理解、推論・判断などの認知機能を包括的に強化できるプリントを用いる。 プリント学習の時間は15分ほど。ただし、児童・生徒のレベルに応じて時間などは調整。集中できる個室空間やイヤーマフを用意するなど不注意や感覚過敏の特性には配慮。 (健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性)
昼食	仲間と一緒に食べる楽しみを味わう。 現場スタッフは児童・生徒の嚥下機能や認知機能、心理的な特性などを配慮しその児童・生徒にあった時間、空間、食事方法で食事を摂るように心がける。 嚥下機能の発達がゆっくりな児童・生徒の食事に関しては食事姿勢やカトラリーの選定、食形態などをセラピスト主導の下評価し、安全に楽しく食事が摂れるように提供。(健康・生活、運動・感覚、認知・行動、人間関係・社会性)
リラックスタイム	高揚した気分を抑制する為(精神面の安定の確保)に、1時間ほどリラックス時間を設ける。 リラックス手段は児童・生徒の好きなテレビや映画を鑑賞、オルゴールなどの癒し系の音楽を流すなど。 (健康・生活、運動・感覚、認知・行動、人間関係・社会性)
おやつ	仲間と一緒に食べる楽しみを味わう。エネルギー不足の為の補食の位置づけ。 現場スタッフは児童・生徒の嚥下機能や認知機能、心理的な特性などを配慮しその児童・生徒にあった時間、空間、食事方法でおやつを摂るように心がける。 嚥下機能の発達がゆっくりな児童・生徒の食事に関しては食事姿勢やカトラリーの選定、食形態などをセラピスト主導の下評価し、安全に楽しくおやつが摂取できるように提供。(健康・生活、運動・感覚、認知・行動、人間関係・社会性)
活動(遊び)	活動(遊び)を通してソーシャルスキル、感覚統合、運動能力の向上、心の健康を図る。 活動場所は屋内外。 活動方法は児童・生徒の身体的特徴、認知機能、精神面などに配慮しながら個別・集団など都度決めて行っている。 (健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性)
家族支援	
<p>家族会の開催、通所児童の家族(兄弟含む)への相談援助を行なっている。 ※家族への相談援助は居宅訪問、事業所対面、オンラインで実施。 実施例:家族会として外部講師を招いた性教育セミナーを開催(家族会の開催テーマなどは都度変わる。) 居宅訪問でのリハビリ指導。事業所対面での児童の特性説明と特性を配慮した指導方法の説明。</p>	
移行支援	
<p>就学前や次年度の就学など児童のライフステージの切り替えタイミングにおいて、就学先・進路先と児童、生徒の情報共有を含めた連携を行なっている。また、児童、生徒の生活の場への充実を図る観点からも自宅での取り組みの指導なども行なっている。 実施例:学校開催の就学前相談への出席と、その場での情報共有。 自宅での排泄自立に向けた家族指導など。</p>	
地域支援・地域連携	
<p>児童に関わる関係機関(主に保育所、学校、相談支援事業所、他事象所デイ、訪問看護ステーションなど)と密に児童の情報共有を含めた連携を図り、関係機関ごとの役割も決めながら児童、生徒にとっての支援がより良いものとなるように努めている。 ※情報連携は主に会議の開催や電話、対面などのオンライン・オフラインでコミュニケーションをとることで実施。 実施例:不登校児童に対しての情報共有と解決策・打開策の策定学。学習面に課題がある児童に対しての特性を配慮した学習指導方法の共有。(学校-事象所間)</p>	
職員の質向上	
<p>事業所内研修:児童・生徒の事例検討会、制度勉強会など 外部研修:医療的ケア児、呼吸器疾患に対するリハビリ研修。発達障がい児への学習支援に関する研修。発達障がい児に対する認知・行動特性のリハビリ研修。 ※事例検討会は毎月開催。制度勉強会は3カ月に1回の開催。</p>	
主な行事等	
一般的な年中行事に加え、夏祭りやハロウィン、食育、遠足イベントなど春夏秋冬、多岐にわたって実施	